

「アルゼンチン 正義を求める闘いとその記録 性暴力を人道に対する犯罪で裁く！」シンポ連動企画

wam 特別セミナー

NUNCA
MÁS
「二度とふたたび」の意

ラテンアメリカ 正義への取り組みのいま

日 時:2018年9月26日(水) 18:00-20:00

場 所:wamオープンスペース(地図裏面参照) 参加費:800円

講 師:大串 和雄さん(東京大学法学部教授)

軍事独裁政権下で行われた重大な人権侵害の加害者を裁く、その実践がラテンアメリカの国々で積み重ねられています。例えばアルゼンチンでは、民政移管後に加害者の訴追を限定的にする法律がつくられ、軍の高官が裁かれた場合も、その後に大統領が特赦で解放してきました。しかし、2000年以降、それらの免責法や特赦を違憲にする判決が国内の裁判所に出され、国会でも免責法を無効化する法律を採択、2017年までに人道に対する罪で3000人が訴追され、性暴力も人道に対する犯罪として裁かれるようになりました。

10月には、正義を求めて粘り強く闘ってきた3人の女性をアルゼンチンからお招きする国際シンポジウムを予定しています(裏面参照)。その連動企画として、アルゼンチンのケースをラテンアメリカや世界全体の移行期正義の中に位置づけ、このような変化を可能にした法的・制度的背景を学ぶ機会をもつことにしました。時効の問題、国際人権条約の国内適用、強制失踪が継続的犯罪と解釈される世界的傾向、米州人権裁判所の役割など、難しそうだけれども、それらを正確に理解することなくしてこの「変化」のすごさもわからない——そこをわかりやすく、質問時間もたっぷりって教えていただきます。

wamは、2000年に開かれた「日本軍性奴隷制を裁く 女性国際戦犯法廷」の思想を引き継いで運営するミュージアムです。和解を目的にするのではなく、いつ、どこで、だれがどのような判断をして人権侵害が実行されたのか、責任のありかを明らかにして不処罰の連鎖を断ち切ること、そしてそれらの事実を「水に流す」のではなく「伝え続ける」ことこそが、未来を拓くと考えています。裁くことの視座をあらためて学び、考えるこの機会を、ぜひお見逃しなく。

おおぐし・かずお:専門はラテンアメリカ政治、比較政治、人権問題で、近年は特に移行期正義を研究している。著作に『軍と革命—ペルー軍事政権の研究』東京大学出版会、1993年。「罰するべきか許すべきか—過去の人権侵害に向き合うラテンアメリカ諸国のジレンマ」『社会科学ジャーナル』第40号、1999年2月。「『犠牲者中心の』移行期正義と加害者処罰—ラテンアメリカの経験から」日本平和学会編『体制移行期の人権回復と正義[平和研究 第38号]』早稲田大学出版部、2012年。『21世紀の政治と暴力』(編著)晃洋書房、2015年



◆賛同のお願い◆

アルゼンチン

正義を求める闘いとその記録 性暴力を人道に対する犯罪として裁く！

アルゼンチンで軍事政権下（1976-83年）の国家による人権侵害に対して
取り組まれてきた正義を求める闘いと、市民によるその闘いの記録、
40年前の国家権力による性暴力を人道に対する犯罪として裁く国内司法——。
アルゼンチンでの力強い市民の闘いが、日本ではあまり知られていません。

今年10月13日（土）、これらの運動を率いてきた3名の女性を日本にお招きし、
アルゼンチンの市民の闘いを知るシンポジウムを企画しています。
国家に奪われた自分の子どもや孫を探し闘い続ける「5月広場の母」、
市民による人権アーカイブズ「メモリア・アビエルタ」の代表、
そして拘禁中の性暴力被害を証言し裁判を闘ったサバイバーです。
みなさま、ぜひご予定に入れてください。詳細は以下サイトに掲載される予定です。
<http://www.wam-peace.org/> または <http://dept.sophia.ac.jp/is/igc/>



招聘には200万円程度の出費を予定しています。地球の裏側で力強く闘う女性たちに出会い、
学び、つながるような機会にしたいと思っています。このシンポジウムの目的に賛同いただけ
る団体・個人を募っています。またカンパもぜひお願いします。

＜賛同金1口＞団体：5000円／個人1000円

＜振込先＞

郵便振替口座：00110-2-579814

加入者名：「女たちの戦争と平和人権基金」係

銀行口座：

三菱UFJ銀行渋谷支店 普通口座3345859

特定非営利活動法人女たちの戦争と平和人権基金

*郵便振込の際は、通信欄に「アルゼンチン賛同」と明記の上、賛同者名公表の可否をお知らせください。当日の資料に掲載する予定です。カンパの場合は「アルゼンチンカンパ」と明記ください。

*銀行振込の際は、賛同・カンパの別、お名前の漢字と賛同者名の公表可否確認のため、wam事務局までメールでご一報くださると助かります。

開館時間：水～日 13:00～18:00

休館日：月・火・祝日・年末年始

※団体の祝日・時間外のご来館はご相談ください。

※展示入れ替え期間は休館となります。

入館料：18歳以上 500円

18歳未満 300円

小学生以下 無料

※障がいのある方の付き添いは無料です。

wam

アクティブ・ミュージアム

女たちの戦争と平和資料館

women's active museum on war and peace

新宿区西早稲田2-3-18 AVACOビル2F 〒169-0051

t 03-3202-4633 f 03-3202-4634

wam@wam-peace.org www.wam-peace.org

